

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



「教育いちかわ」
12月19日号
市川市教育委員会

「21世紀の平和と共存」 (塩浜学園) ～杉原千畝 命のビザより～ の公開講座が開かれました

市川市立塩浜学園では、地域の文化センターとしての役割を担うための試みとして、地域住民を対象とした公開講座「はまっこ・夢・大学」を開催しています。

今回は、「21世紀の平和と共存 ～ 杉原千畝 命のビザより ～ 」と題して、杉原千畝 氏の孫にあたる杉原まどか 氏の講演が開催されました。講座には約40名の地域の方の参加が見られ、また、児童生徒は学習の一環として、多くの写真を見ながら命の重みを考える時間となりました。



【杉原 千畝 (すぎはら ちうね)】昭和時代の外交官。第二次世界大戦中、ナチスの手から逃れてきた多くのユダヤ人難民にビザを発給し、約6000人のユダヤ人難民を救った。杉原千畝氏が発行したビザは、「命のビザ」とよばれ、このビザで救われた人たちは、その子孫も合わせて現在25万人以上に及ぶといわれている。

講演会では、「命のビザ」を発行した偉業とともに、学生のころから自分の進みたい道を歩むために努力していた様子など、直系の孫であるまどか氏 だからこそわかる 杉原千畝 氏の生き様が語られました。また講演会場では、実際にビザを発給したパスポートの複製を手にとることができました。その紙の質感や救われたユダヤ人の写真、ビザの筆跡などから当時に思いを巡らすことができました。



【杉原 千畝 氏がビザを発給した
パスポートの複製】

“もしも困っている人がいたらどうしますか”で締めくくられた講演に、代表生徒からは「杉原千畝さんのビザ発給によって多くの命が助けられたことを知って驚きました。困っている人がいたら、私も勇気を出して助けてあげたいと思いました。」との言葉がありました。

【教育センター】